

2009.2.17

府立学校教育用 LAN システムへの OpenOffice.org 3.0.0 のインストール

大阪府立東百舌鳥高等学校 稲川孝司

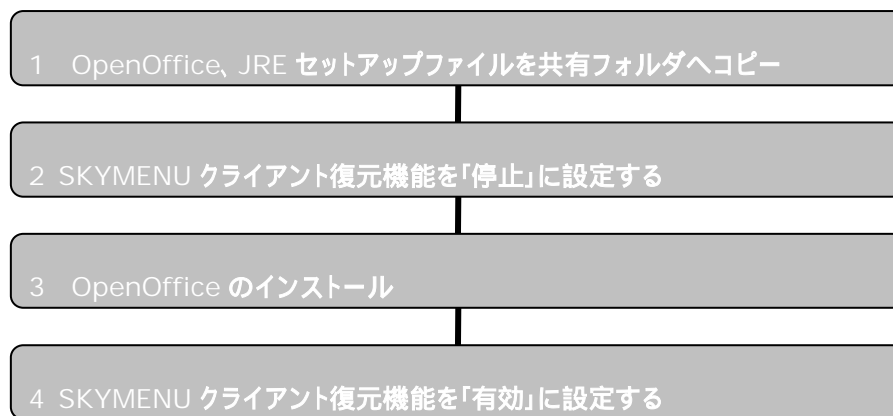
株式会社 富士通ビジネスシステム

OpenOffice.org 3.0.0 を LAN システムの全端末にインストールする手順です。

前提条件として、使用する端末の OS が Microsoft Windows Vista、SKYMENU「校内ネットワーク」「クライアント復元機能」が利用できる環境を想定しております。

SKYMENU「校内ネットワーク」を用いて全台一斉インストールを行い、OpenOffice.org 3.0.0 を利用できるように設定します。作業時間はおよそ 2 時間です。

1 インストールの流れ



2 用意するもの

1. OpenOffice.org 3.0.0 インストールパッケージ(以下 OpenOffice) 約 130MB
<http://ja.openoffice.org/>より「Windows JRE なし」をダウンロードしてください。

2. Java Runtime Environment (以下 JRE) 約 30MB
<http://java.com/ja/download/>より「Windows XP/Vista/2000/2003 オフライン」
をダウンロードしてください。

注)Base(データベースアプリケーション)を実行するには Java が必要です。

注)今回使用する JRE は Version 6 Update 11 です。

3. インストール作業をする端末の管理者権限アカウント(以下管理アカウント)

4. LAN 教室サーバへログオンするアカウント

5. インストール作業をする端末がアクセス可能な共有フォルダ(以下共有フォルダ)

例)「グループ共有フォルダ」など

3 インストール作業

「1 OpenOffice、JRE セットアップファイルを共有フォルダへコピー」

全ての端末がアクセス可能な共有フォルダへ OpenOffice と JRE を配置し、各端末へ一斉に OpenOffice をインストールします。

OpenOffice は Oo_3.0.0_Win32Intel_install_ja.exe を実行するとルートディレクトリに解凍されます。解凍されたフォルダ(OpenOffice.org 3.0 (ja) Installation Files)を配置してください。

「2 クライアント復元機能を停止する」

1. LAN 教室サーバへログオンします。
2. SKYMENU「校内ネットワーク」[電源]機能より各端末の電源を入れます。
3. 各端末がユーザー名、パスワードを入力する画面になったら SKYMENU「校内ネットワーク」[復元/修復]機能よりクライアント復元機能を「停止」に設定します。

本設定に必要なパスワード等は SKYMENU クライアント復元機能冊子をご参照下さい。

「3 OpenOffice のインストール」

1. 各端末に対し管理アカウントでログオンします。
2. SKYMENU「校内ネットワーク」の[実行]機能で各端末に対して共有フォルダの JRE(jre-6u11-windows-i586-p-s.exe)をインストールします。
サイレントインストールスイッチは注 1)参照
3. SKYMENU「校内ネットワーク」の[実行]機能で各端末に対して共有フォルダの OpenOffice をインストールします。
サイレントインストールスイッチは注 2)参照

注 1) <JRE 配置パス>¥ jre-6u11-windows-i586-p-s.exe /lang=1041 /s SYSTRAY=0 IEXPLORER=1 MOZILLA=1 JAVAUPDATE=0 REBOOT=Suppress

注 2) msiexec /qn /i <OpenOffice 配置パス>¥ OpenOffice.org 3.0 (ja) Installation Files¥ openofficeorg30.msi

「 4 SKYMENU クライアント復元機能を「有効」に設定する」

1. SKYMENU「校内ネットワーク」[電源]機能より各端末をログオフします。
2. 各端末がユーザー名、パスワードを入力する画面になったら SKYMENU「校内ネットワーク」[復元/修復]機能よりクライアント復元機能を「有効」に設定します。

4 補足

上記インストール作業だけでは、OpenOffice を起動すると毎回「Open Office へようこそ」といった初回起動ダイアログが表示されます。

この初回起動ダイアログを毎回表示させないようにすることも可能です。

OpenOffice 初期設定用ファイルを Default(DefaultUser)へコピーすることが必要となります。

< OpenOffice 初期設定用ファイルの作成とそのコピー方法 >

本作業を行う際は OpenOffice インストールと同様クライアント復元機能を停止してから行ってください

1. 任意の端末で OpenOffice 初期設定用ファイルを作成します。
OpenOffice をインストールしたユーザーで OpenOffice を起動します。
初回起動ダイアログを一度実行します。
2. 初期設定ファイル(フォルダ)が生成されます。
OpenOffice のコンフィグディレクトリ(%APPDATA%\OpenOffice.org\3\user%)
3. *%APPDATA%\OpenOffice.org\3\user%*の user フォルダを共有フォルダにコピーします。
4. OpenOffice をインストールした方法と同様、SKYMENU を使用して各端末の以下の場所へ共有フォルダにコピーした user フォルダをコピーします。
[デフォルトユーザー]
C:\Users\Default\AppData\Roaming\OpenOffice.org\3\user
[ローカル Administrator]
C:\Users\Administrator\AppData\Roaming\OpenOffice.org\3\user

SKYMENU 校内ネットワーク[実行]機能で実行するコマンド例は以下

```
xcopy "<user フォルダ配置パス>%user"
```

```
" C:%Users%Default%AppData%Roaming%OpenOffice.org%3%user%" /h /e /a /i /c /y
```

```
xcopy "<user フォルダ配置パス>%user"
```

```
" C:%Users% Administrator%AppData%Roaming%OpenOffice.org%3%user%" /h /e /a /i /c /y
```

4 注意点

1. 端末の OS により「OpenOffice のインストール先」「ファイル(フォルダ)のコピー先」など異なりますのでご注意ください。
2. 既にインストールされている JAVA 等環境の違いにより OpenOffice 起動時にエラーメッセージが表示されたり、正常に起動しない場合がございます。**クライアント復元機能が有効の状態**で OpenOffice 等**テストインストール、テスト起動**を行った後に各端末へのインストールを行ってください。

以上